

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2019-50980 (P2019-50980A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2017-176371 (P2017-176371)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 20 日 (2020.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機において、

遊技を進行させるための遊技進行信号が検出されているか否かを判定する検出判定手段と、

特定エラーが発生しているか否かを判定する特定エラー判定手段と、

特定エラーが発生していると判定されたときに遊技の進行を不能化する不能化状態に制御する不能化状態制御手段と、

前記不能化状態を終了して遊技の進行が可能な状態に制御する不能化状態解除手段と、

初期化条件が成立したときに、不能化状態を含む遊技の進行に関する制御状態を初期化する初期化手段と、

を備え、

前記特定エラー判定手段は、

前記初期化手段により遊技の進行に関する制御状態が初期化された後、前記検出判定手段により最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かを判定し、

前記不能化状態解除手段が前記不能化状態を終了して遊技の進行が可能な状態に制御した後、前記検出判定手段により最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かを判定する、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、

遊技を行う遊技機（スロットマシン 1）において、

遊技を進行させるための遊技進行信号（メダル投入信号、MAX BET スイッチ 6 の検出信号）が検出されているか否かを判定する検出判定手段（メダル投入信号処理、操作入力受付処理）と、

特定エラー（払出期間外で払出センサ 3 4 c がメダル等を検出する異常）が発生しているか否かを判定する特定エラー判定手段（メダル投入払出エラーチェック処理）と、

特定エラーが発生していると判定されたときに遊技の進行を不能化する不能化状態（エラー状態）に制御する不能化状態制御手段（エラー処理）と、

初期化条件が成立したときに、不能化状態を含む遊技の進行に関する制御状態を初期化する初期化手段（設定変更時初期化処理）と、

前記不能化状態を終了して遊技の進行が可能な状態に制御する不能化状態解除手段と、
を備え、

前記特定エラー判定手段は、

前記初期化手段により遊技の進行に関する制御状態が初期化された後、前記検出判定手段により最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かを判定し、

前記不能化状態解除手段が前記不能化状態を終了して遊技の進行が可能な状態に制御した後、前記検出判定手段により最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かを判定する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定エラーの発生に伴い不能化状態に制御されており、特定エラーの原因が解消しないまま初期化条件が成立した場合でも、遊技に関する制御状態が初期化されることに伴って不能化状態も初期化されてしまうこととなるが、このような場合でも、遊技に関する制御状態が初期化された後、最初に遊技進行信号が検出されているか否かが判定される前に、特定エラーが発生しているか否かが判定され、特定エラーが発生していると判定された場合には、遊技進行信号が検出されて遊技が進行する前に再び不能化状態に制御されることとなり、特定エラーの原因が解消していないにも関わらず遊技が進行してしまうことがなく、エラーが確実に解消した状態で遊技を進行させることができる。